

おたより

はびねす nursery school

2022年

２月号

NO.11

立春を迎える季節。まだまだ寒さが厳しい日もありますが、少しずつ春に向かっています。

子どもたちにとってはこの季節は、雪を思い浮かべるようです。最近、平地ではあまり見られなくなった雪。

雪について子どもたちと話し合ってみると、寒さよりも空から降ってくる不思議さや、きらきらと輝き舞う様子を見るのが楽しみなようです。雪には、粉雪、淡雪、ぼたん雪…などいろいろな種類があります。

雪調べをしてみるのも楽しいですね。

１月は、お正月あそびを満喫しました。今月は感染症に気をつけながら積極的に戸外へ出て、体を動かして活動したいと思います。

ひき続き、体調管理をよろしくお願いします。

節分　鬼はそと～　福はうち～

お面と三方が出来上がり、豆まきの準備万端です。子どもたちにとって、ちょっぴりドキドキの節分。さて、鬼を退治することができるでしょうか・・？

「豆まきの由来」

旧暦では、２月４日頃の立春が正月で、その前日に豆まきをして邪気を追い払っていました。豆まきに使う大豆は、神様へのお供え物で不思議な力が宿ると考えられていました。豆を食べるようになったのは、室町時代から江戸時代にかけてだといわれています。

“畑のお肉”といわれるほど栄養価が高いダイズ製品をたくさん摂りましょう。

「恵方」

干支で定められたその年のよい方角のことです。今年の恵方は**「北北西」**です。

ご家族みんなで北北西を向いて太巻きずしを食べるのもなかなかいいですね。



節分といえば、恵方巻が定着してきていますが、イワシも節分に食べる食材のひとつです。

園では恵方巻と、いわしはかば焼き風にして食べます。

２月うまれのおともだち

２月生まれのおともだちはいません

おたんじょうび　おめでとう



立春

旧暦では、立春が一年の始まりでした。

暦の上では、立春から立夏の前日までを春と呼びます。

この時季には、梅の花が咲き始め、少しずつ暖かくなっていきます。また、立春から春分の間に初めて吹く南向きの強い風のことを春一番といいます。

まだまだ寒い日が続きますが、春はゆっくり近づいてきています。

「 建国記念の日 」

２月１１日は「建国記念の日」です。『建国をしのび、国を愛する心を養う』という趣旨で制定されました。日本の歴史を聞いたり、調べたりしてみるのもいいですね。

クッキー作り

バレンタインにちなみ、みんなでクッキー作りをします。

型抜きは、粘土あそびの経験でみんなお手のものだと思います。

好きな型をたくさん抜いて、おいしいクッキーを作り、みんなで楽しくいただきたいと思います。

今後の行事について

新型コロナウイルス感染症の状況をみながらになります。日程等詳しくは、決まり次第お知らせします。よろしくお願いします。

卒園式･･･3月26日(土)

令和4年度入園式、進級式･･･4月1日(金)

の予定です。

保健

〈 せきエチケット 〉

せきやくしゃみでウイルスが２～３m飛びます。何らかのウイルスを持っていると、周りにいる人に感染する恐れがあります。せきができる時は、ティッシュ等で鼻を覆う、人がいない方を向く、手で押さえた場合は、すぐに手を洗うなどお家でも教えてあげてください。

〈 せきの悪化に注意 〉



夜にせき込んで何度も目をさます、せきをしてゼーゼーと音がするなどの症状がある場合、気管支炎や肺炎など、風邪よりも症状が進んでいる可能性があります。そんな時は、胸の音をきく必要があるので、耳鼻咽喉科ではなく、小児科を受診してください。大丈夫と思っていても、突然症状が悪化することもあるので、早目早目に受診するようにしてください。

〈 アレルギーの日 〉



２月２０日は「アレルギーの日」です。日本の免疫学者が、アレルギーを起こす原因となる抗体を発見してアメリカの学会で発表した日です。アトピー性皮膚炎、ぜんそく、花粉症、食物アレルギーなど日本人の２～３人に１人は何らかの疾患をもっているといわれています。専門機関を受診したり、正しい情報を知ることが大切です。

〈 解熱剤は効果的に 〉

インフルエンザなどにかかり高熱が出ると心配ですね。発熱は、体がウイルスなどの病原体と闘っているサイン、熱が高いからといって解熱剤を何度も使うと、かえって病気を長引かせることがあります。解熱剤は正しく使用するようにしましょう。











伝承あそび

楽しみました！









